

平成30年度
檜葉町町政懇談会

説明資料



平成30年11月

檜葉町

一 目 次

I 重点施策

1. 笑ふるタウンならば	1
2. 竜田駅周辺エリア	4
3. 教育の充実	6
4. 農業の再生	8

II 町内の状況・各種施策

1. 町内居住者	11
2. 安全・安心の確保	11
3. 生活再建支援	13
4. 医療・介護・福祉	14
5. 災害からの復旧・道路整備状況	16
6. 産業の再生	18
7. 生涯学習環境・体育施設の整備	20
8. 新生Jヴィレッジ	21

III お知らせ

1. 家庭ごみの回収について	22
2. 課税について	23
3. 広報について	24
4. あおぞらこども園入園募集について	25

I 重点施策

1. 笑ふるタウンならば

- ▶ 町民や町内事業者の皆様の暮らしを支える拠点として、医療・福祉・商業・交流施設・住宅などを集積した新しい街並みを整備しています。



(1) 公設商業施設「ここなら笑店街」

- ・生活に欠かせない買い物環境を整備するため、公設商業施設を平成30年6月26日に開業しました。下記の10店舗が営業しています。

業種	店名	営業時間	定休日
スーパー	ブイチェーン ネモト	9:00-19:00	水曜定休
ホームセンター	コメリ ハード&グリーン 檜葉店	9:00-19:00	
ベーカリー	アルジャーノン	10:00-18:00	日曜・月曜定休
理容店	BARBER SMILE	10:00-19:00	月曜、第2・3火曜定休
飲食店(酒・定食)	食楽処 おらほや	11:00-14:00 17:00-21:00	日曜定休 第1・4土曜はランチ休
飲食店(ラーメン)	麺 joy なごみ家	11:00-20:00	
飲食店(豚重)	豚壱	11:00-15:00	日曜定休
クリーニング	光洋舎クリーニング	9:00-18:00	日曜・祝祭日定休
カフェ	Mare di Caffè	10:00-17:00	月曜定休
コインランドリー	ジャブジャブ II	6:30-20:00	

(2) みんなの交流館「ならはCANvas」

- ・「みんなの交流館 ならはCANvas」は、「檜葉らしい交流館ってどんなもの？」と一緒に考えるくお茶のみ会(ワークショップ)の中で語られた想いをもとに設計されました。
- ・地域を超え、世代を超えて愛されることを願い、何度も来たくなるようなたくさんの魅力とこだわりが詰まった施設です。

<基本情報>

施設名：みんなの交流館 ならはCANvas

開館時間：9：00～21：00

休館日：毎月第2・4火曜日
年末年始（12月29日～1月3日）

住所：〒979-0604
福島県 双葉郡檜葉町 大字北田字中満260 番地

Tel：0240-25-5670 Fax：0240-23-6772

メール：info@narahamirai.com

HP：http://naraha-canvas.com/

(指定管理者) 一般社団法人 ならはみらい



【コンセプト】

- ① 人が集まり、みんなが出会う場
- ② 一人でも誰とでもゆっくり過ごせる場
- ③ 檜葉らしさ、情報、震災を伝える場
- ④ 復興の象徴となる施設



(3)災害公営住宅

- ・中満南団地123戸、寺脇団地17戸、計140戸の整備が完了しており、現在、約9割の世帯が入居しています。

<笑ふるタウン以外の災害公営住宅>

- ・一ツ屋団地 8戸
 - ・シウ神山団地 10戸
- ※中満南団地、寺脇団地を含め、合計158戸が整備済みです。

(4)分譲住宅地

- ・町内外の住民の受け入れを目的として、分譲住宅地を整備しました。
- ・1工区(戸建用地18区画)は完売済みです。
- ・2工区(戸建用地31区画、共同住宅用地6区画)は、10月に造成工事が完了し、現在、申込みを受付中です。



<笑ふるタウン以外の分譲住宅地>

- ・震災以前に整備した下記の分譲住宅地も販売を受け付けています。

○「ハイタウン赤粉」(下繁岡地区):9区画

子育て世帯等住宅取得奨励金

- ・平成29年度から「檜葉町子育て世帯等住宅取得奨励金」を実施しています。
- ・地域の担い手となる若い世代と子どもたちの定住を促進するため、分譲地を含め、町内に新築住宅を取得した子育て世帯等に100万円の奨励金を交付します。
- ・平成31年3月31日まで申し込みを受け付けています。

<お問合せ先:建設課 電話0240-23-6106>

2. 竜田駅周辺エリア

- 竜田駅東側は、町民や廃炉関連企業の生活・事業を支援するため、地域活動の多様な機能の結節拠点を目指し、東西自由通路及び駅前広場、事業所エリア、居住・宿泊エリア等の整備を進めています。



(1) 竜田駅東西自由通路・橋上駅舎

- ・東西自由通路及び橋上駅舎の施行協定をJR東日本と締結し、平成30年12月より工事に着手し、平成32年6月に供用開始を予定しています。

【建築概要】

○鉄道施設(橋上駅舎)

延べ床面積 : 95.46㎡

(1階床面積: 14.40㎡ 2階床面積: 81.06㎡)

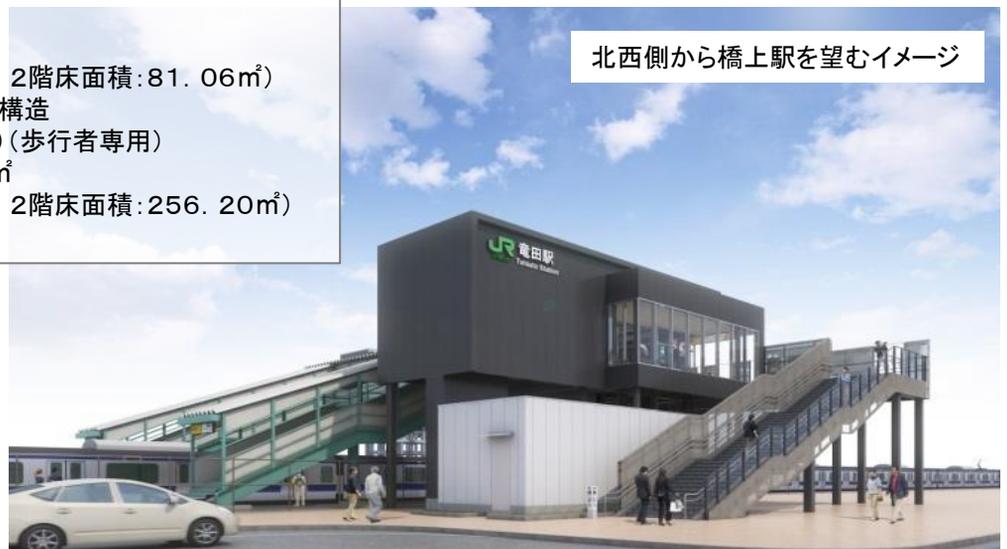
構造 : 鉄骨造・ラーメン構造

○都市施設(東西自由通路)(歩行者専用)

延べ床面積 : 267.36㎡

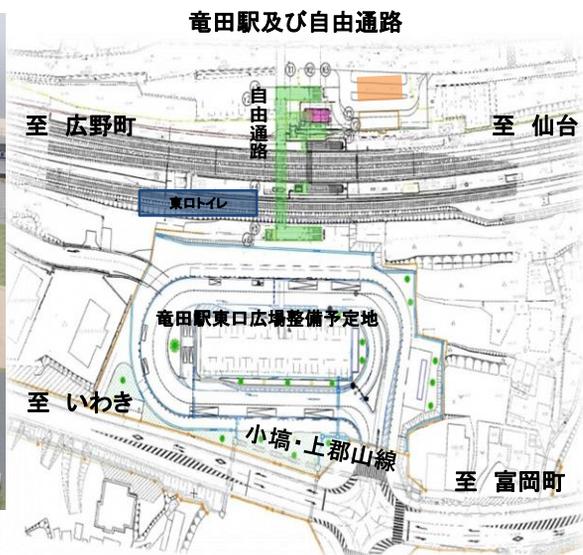
(1階床面積: 11.16㎡ 2階床面積: 256.20㎡)

構造 : 鉄骨造



(2) 駅前広場

- ・竜田駅東口広場の整備を進めており、東西自由通路及び橋上駅舎との工程調整を図り、平成32年6月の完成を予定しています。



(3) 宿泊施設・企業宿舎

- ・宿泊施設として、竜田駅東側でホテルを建設する事業者を選定中です。
- ・企業宿舎350戸が、平成29年6月に完成しています。

(4) 事業用地

- ・事業用地には、下記の4事業者が操業中です。残る事業用地も廃炉関連事業者の事務所等が進出する予定です。

企業名	業種
新生テクノス株式会社	電気通信工事業
有限会社ウインズトラベル	自動車レンタル業
株式会社東コンサルタント	建設コンサルタント
マグナ通信工業株式会社	電気通信工事業

(5) 竜田駅西側について

- ・家屋解体による空洞化が著しい竜田駅西側市街地については、住民参加型のワークショップを開催し、今年3月に「竜田駅西側復興まちづくり計画」を策定しました。本計画に基づき、平成32年度中を目途に整備を進める予定です。

3. 教育の充実

- 平成29年4月に町内で小中学校とこども園が再開し、やっと町に子どもたちの元気な声が響くようになりました。しかし、震災前と比較すると、子どもの数が著しく減少しているのが現状です。
- このため、町では、「日本一の教育を提供する」という高い目標を掲げ、「檜葉で教育を受けさせたい、檜葉で子育てしたい」と思っていただけのような魅力ある教育環境づくりに取り組んでいます。

(1) 児童生徒数の状況

	震災前 (H22年度末)	町内再開 (H29年4月)	現 状 (H30年10月)
小・中学校	686人	105人	102人
うち小学生	432人	62人	69人
うち中学生	254人	43人	33人
こども園	247人	38人	65人
合 計	933人	143人	167人

(2) 檜葉独自の新たな取り組み

① 中学生のキャリア教育(模擬会社「Nalysゆずスマイル檜葉」)

- ・総合的な学習の時間を活用し、生徒が模擬会社を設立して、町の特産品を用いた商品開発を実施。
- ・10月27日に開催した「ゆずり葉祭」で販売したほか、11月15日に福島県のアンテナショップ「日本橋ふくしま館MIDETTE」でも販売を行いました。



ゆずり葉祭の様子



MIDETTEでの販売の様子

② まちづくりチーム「中学生室」

- ・平成29年9月に町役場内に「中学生室」を設置し、中学生メンバーと町職員が定期的に意見交換を行っています。
- ・また、中学生メンバーが自らイベント参加を企画し実践するなど、町を元気にする活動にも取り組んでいます。

③「ハロ～！ロボット教育プロジェクト」

・平成29年8月に、福島大学、日本原子力研究開発機構(楡葉南工業団地で廃炉ロボットを開発)、民間のプログラム運営事業者等と産学官連携による「ロボット教育プロジェクト」をスタートしました。

・子どもたちが実際にロボットを見て触れてプログラミングを学ぶワークショップなどを実施しており、今年度は、南北小学校の5・6年生の希望者を対象に、放課後に「レゴロボプログラミング教室」を開催しています。



プログラミング教室の様子

(3) 主な教育に関する取り組み

① 放課後及び長期休暇中の学習支援

- ・民間教育支援事業者や学習塾による放課後や、夏・冬休みの学習会の開催
- ・高等専門学校・大学および学生サークルなどによる学習支援

② 通学支援(スクールバスの運行)

- ・楡葉町内はスクールバスで送迎
- ・町外からの通学者に対しては、学校最寄駅までのスクールバスを運行

③ ICT教育の充実

- ・タブレット端末や電子黒板を導入したICT教育の実施
- ・小中学校へのICT支援員の配置

④ 英語教育の充実

- ・小中学校、こども園へのALT(英語指導助手)の配置
- ・ブリティッシュヒルズ語学研修の実施

⑤ その他

- ・就学支援(学用品費等の補助)、自校給食の提供、図書室支援員の配置 など

(4) 学校の運営について

- ・現在、楡葉南小学校と楡葉北小学校は、楡葉中学校の校舎で授業を行い、小中連携型の教育を実施しています。
- ・当面は、現状の形で学校を運営していきますが、今後、小学校の統合や、旧南小学校校舎(現楡葉まなび館)の使用なども視野に入れながら、よりよい教育環境について検討を進めていく予定です。

4. 農業の再生

- 基幹産業である農業の再生なくして、町の復興はありません。販売を目的とした水稲を平成28年度から再開し、農業者の皆さんの営農再開を支援しています。
- 農業の担い手が大きく減少している状況であり、農地の集積と基盤整備による省力化を進めていきます。また、カントリーエレベーター等の施設を整備し、効率的な農業経営をサポートします。
- 水稲に加えて、収益性の高い新しい作物にも挑戦しており、特に甘藷(さつまいも)は、食品メーカーとタイアップし、一大産地を目指します。

(1) 営農再開状況

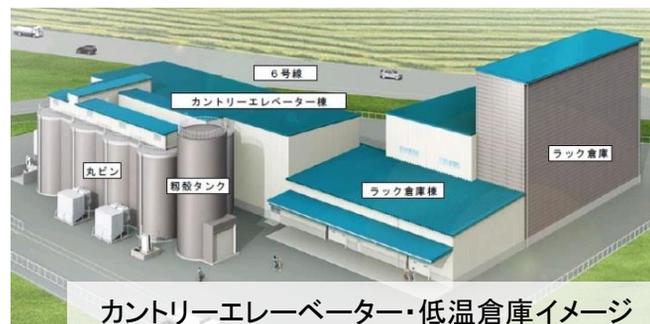
- ① 水稲 30戸 約58ha作付 (震災前 555戸 約410ha)
⇒平成29年度全量全袋検査実績 3,583袋 全て基準値(100Bq/kg)以下
- ② 畑作
 - ・甘藷(さつまいも) 2戸 約13ha作付
 - ・玉ネギ 4戸 約1.8ha作付
- ③ 花き
 - ・トルコギキョウ等 4戸 約40a作付
- ④ 畜産
 - ・酪農牛 1戸 85頭
 - ・繁殖牛 3戸 50頭(震災前 約40戸 約400頭)



甘藷(さつまいも)収穫の様子

(2) 農業用施設の整備

- ① カントリーエレベーター
 - ・収穫後の籾を、乾燥→精選→貯蔵→籾摺り→計量出荷まで一貫処理できる施設。
 - ・貯蔵能力は約1,000tで、面積にすると約150ha分の籾を保管処理できます。
 - ・平成31年1月完成予定。
- ② 自動ラック式米農業用低温倉庫
 - ・空調設備により、年間を通じて一定の温度で玄米を保管する施設。
 - ・玄米を611t、面積にすると約125ha分保管することができます。
 - ・平成31年1月完成予定。
- ③ 水稲育苗センター
 - ・水稲の苗を生育させる施設。
 - ・100haを対象として、年間2万箱を処理することができます。
 - ・平成30年12月完成予定。



カントリーエレベーター・低温倉庫イメージ



育苗センターイメージ

(3) 営農再開に向けた取組

① 農地保全

- ・ 檜葉町農業復興組合等による除染後農地の保全管理(前年同様)
⇒ 平成29年度耕起・草刈実績 約500ha

② イノシシ捕獲

- ・ 檜葉町有害鳥獣捕獲隊によるイノシシ捕獲 473頭(10月末時点)
⇒ 平成29年度捕獲実績 281頭(平成28年度 359頭)

③ ならSUNマルシェ

- ・ 町内で栽培された野菜等を笑ふるタウン中央広場で販売。
※ 昨年8月よりスタートし、今年度も隔週開催。
※ 出品農家募集中! (出品の際は事前登録等が必要です。)

④ 「ならSUNフェス2018」の開催

- ・ 営農再開に向けての機運醸成を目的として、今年11月10日に震災後初となる収穫祭「ならSUNフェス」を開催しました。
 - ・ 町農産物品評会(表彰式)、展示農産物の販売
 - ・ 町産新米すくいどりチャレンジ、木戸川漁協による紅葉汁・イクラ丼の振舞い
 - ・ 町産さつまいもを使用したスイーツ販売 など



オープニング(投げ餅)の様子



販売・振る舞いブース

(4) 営農に向けた支援策 【平成30年度補助事業抜粋】

① 原子力被災12市町村農業者支援事業〈継続〉

- ・ 営農再開や規模拡大、新規作物の導入等を支援します。
- ・ 補助率: 3/4 ・ 補助対象経費の上限: 1,000万円
- ・ 事業実施期間: 平成33年3月31日まで(定期的に説明会を開催。)
⇒ 平成29年度交付実績 20戸 192,806千円

② 檜葉町帰還農業者支援事業補助金〈継続〉

- ・ 檜葉町に帰還した農業者が、再び農業を始めるにあたり、営農上必要な小農機具、ハウス等を定額助成します。
- ・ 補助率: 3/4 ・ 補助対象経費の上限: 「農業用機械購入費」または「農業用ハウス購入費」それぞれ毎に50万円
⇒ 平成29年度交付実績 28戸 13,860千円

③鳥獣被害防止電気柵購入補助金〈継続〉

- ・イノシシ等の被害により、野菜等が収穫できないケースが数多く報告されていることから、電気柵の購入費を助成します。
- ・補助率:1/2 補助額上限:6万円
⇒平成29年度交付実績 19戸 920千円

※これらの補助は平成31年度も継続する予定です。上記以外にも、営農を再開するための各種支援制度がありますので、産業振興課までお問い合わせください。

〈産業振興課 電話0240-23-6104〉

(5)食品等の放射能簡易分析

①自家消費食品等の放射能簡易検査

- ・測定場所 農林水産物処理加工施設(前原字葉ノ木原地内)
- ・受付時間 8:30~17:00 (休憩時間 12:00~13:00)
月曜日~金曜日(祝祭日及び年末年始を除く)
- ・電話番号 0240-23-6557

②食品放射能分析の結果

自家消費食品の品目別摂取基準超の割合 (基準値超件数/総検体数)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年 (10月現在)	平成30年 基準値超最大値 (Bq/kg)
水	0/39	0/9	0/20	0/13	井戸水(ND)
キノコ類	7/9	0/0	9/16	19/19	猪鼻(10127.09)
山菜類	28/102	19/101	30/130	30/144	ゼンマイ(2451.90)
果実類	6/341	0/38	2/171	31/171	栗(229.40)
野菜類	0/125	0/132	0/280	0/173	ミョウガ(79.32)
鳥獣類	19/23	0/0	20/20	1/1	猪肉(946.46)
加工品	1/26	0/3	0/30	0/2	蜂蜜(68.37)
その他	0/0	0/2	0/2	0/2	岩カキ(16.40)

③出荷・販売用モニタリング検査

- ・野菜及び果実等の無償譲渡を含む出荷・販売をする際には、必ず県のモニタリング検査が必要です。

〈お問合せ先:福島県双葉農業普及所 電話0240-23-6474〉

Ⅱ 町内の状況・各種施策

1. 町内居住者(平成30年10月末現在)

- **町内居住者数 3,560人(町内居住率 50.9%)**
- 人口 6,996人

<町外の主な居住状況>

- 【県内】 いわき市 2,745人(39.2%)、郡山市 90人(1.3%)
- 【県外】 茨城県 186人(2.6%)、埼玉県 78人(1.1%)

2. 安全・安心の確保

(1) 除染廃棄物の搬出 (環境省事業)

① 可燃性除染廃棄物

- ・仮設焼却施設への搬出を実施しており、平成31年3月までに全ての仮置場で可燃物の搬出が完了する予定です。

◆ 可燃物を搬出している仮置場

→波倉・前原

※上記以外の仮置場では、可燃物の搬出が完了しています。

② 不燃性除染廃棄物

- ・復興事業等の支障となる箇所から順次、中間貯蔵施設への輸送を実施しています。

◆ 不燃物の搬出が完了した仮置場

→下繁岡・女平(中平水無)・下小埜・上小埜・大谷(山岸仲田)・山田岡
・大坂・乙次郎

◆ 不燃物を搬出している仮置場

→上繁岡・山田浜

<仮置場の除染廃棄物保管状況>

	当初 (H26年11月)	現状 (H30年9月末)	搬出率
可燃物	205,515袋	3,185袋	99.9%
不燃物	377,263袋	306,833袋	18.7%
計	582,778袋	310,018袋	53.2%

(2)防犯対策など

・誰もが安心して生活できる安全な町づくりを実現するため、地域の防犯体制を整備するとともに、交通安全の推進活動を実施しています。

主な取組の内容

◇防犯カメラの設置

- 防犯体制強化のため、町内主要地点24か所に防犯カメラを設置し運用しています。

◇防犯パトロールによる治安維持

- 警察、消防のパトロールに加え、檜葉町特別警戒隊が24時間体制で町内の見回りを行っています。

◇防犯灯の設置

- 安全・安心確保と犯罪抑止のため、町内全ての防犯灯をLED灯へ改修しました。新たに必要な箇所については設置を検討します。

◇檜葉町安全見守り協議会の設置

- 関係機関とともに町内の防犯活動の普及や交通マナー等の推進を図るため、協議会を設置し、立哨活動等を実施しています。

(3)水道水の安全性

①「ふくしま木戸川の水」販売

- ・双葉地方水道企業団では、水道水に対する不安を払しょくし、安全性をPRするため、今年11月からペットボトル水「ふくしま木戸川の水」の販売を開始しました。
- ・小山浄水場で作られた水道水は、24時間連続で1時間ごとに放射性物質を自動測定できる検査機器を日本で初めて導入し、安全管理を徹底しています。



②水道水の検査

- ・双葉地方水道企業団では、水道水を安心してご利用いただくため、ご家庭の蛇口から出る水道水の放射性物質検査を無料で実施しています。

- ◆対象者 檜葉町内において、現在水道を開栓している世帯
- ◆申込期間 平成31年2月28日(木)まで
- ◆検査実績 平成29年度:37件、平成30年度:38件(10月末時点)
※検査を実施したすべての水道水から放射性物質は検出されていません。

〈お問合せ先:双葉地方水道企業団 施設課浄水係 電話0240-25-5341〉

3. 生活再建支援

(1) 檜葉町帰還支援事業補助金

・応急仮設住宅等から檜葉町の自宅等へ帰還した場合に補助金が交付されます。

①対象世帯

・県内外の応急仮設住宅等に2年を超えて入居していた方で、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに檜葉町の自宅等へ帰還した世帯が対象となります。
なお、仮設住宅等の退去後3か月以内の申請となりますのでご注意ください。

②補助額

	複数世帯	単身世帯
県外からの移転	10万円	5万円
県内からの移転	5万円	3万円

(2) 檜葉町生活再建完了給付金制度

・檜葉町で被災された世帯が、自宅等の再建を完了した場合、給付金が支給されます。
(檜葉町以外で再建された場合も対象になります。)

①対象世帯

- ・平成23年3月11日(基準日)現在で、檜葉町に住民登録があった世帯(対象世帯)及び対象世帯から平成29年3月31日以前に世帯分離した世帯が対象となります。ただし、就学のため世帯分離した場合は対象外となります。
- ・自宅等の再建が完了し、平成31年3月31日まで応急仮設住宅等を退去した世帯が対象世帯となります。その他、応急仮設住宅等以外の住宅は、生活再建が完了したものとみなし、給付金の対象世帯になります。
- ・住民登録が一緒でも別々に暮らしている場合は世帯分離とみなしますが、町に届け出ている場合に限ります。

②給付金額

単身世帯:3万円、 2人以上の世帯:5万円

<お問合せ先:くらし安全対策課 電話0240-23-6109>

4. 医療・介護・福祉

(1) 医療

① 県立ふたば復興診療所(ふたばリカーレ)

(住 所) 檜葉町大字北田字中満289-1
(連絡先) 0240-23-6500
(診療科) 内科(月～金)、
整形外科(月・水【午後】・木)
(診療時間) 9:30～12:00、13:30～16:00



② ときクリニック

(住 所) 檜葉町大字下小埜字佐野3-9
(連絡先) 0240-25-1222
(診療科) 内科・小児科(火～金)
(診療時間) 9:30～12:00、13:30～16:00



③ 蒲生歯科医院

(住 所) 檜葉町大字北田字中満289-3
(連絡先) 0240-25-2061
(診療科) 歯科(月～金)
(診療時間) 9:30～12:00、14:00～16:00



④ 福島県ふたば医療センター附属病院

(住 所) 富岡町大字本岡字王塚817-1(富岡町役場北西側)
(連絡先) 0240-23-5090
(診療内容) 救急(救急医療全般、外科的・内科的の疾病全般)
(開院時間) 24時間365日



(2) 介護・福祉

① デイサービスセンターやまゆり荘

(住 所) 檜葉町大字山田岡字大堤入31-3

(連絡先) 0240-25-1077

(利用時間) 月曜日から金曜日
午前10:00～午後3:00

(事業内容) ①通所介護事業
②新しい総合事業・介護予防等

(対象者) ①要介護1～5の認定を受けている方
②要支援1、2及び
事業対象者の認定を受けている方



② 保健福祉会館

(住 所) 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5

(連絡先) 0240-25-4157

(利用時間) 月、水曜日 午前9:30～11:30
午後3:30～ 5:30
木曜日 午前9:30～11:30

(事業内容) 新しい総合事業・介護予防等

(対象者) 要支援1、2及び
事業対象者の認定を受けている方



③ 特別養護老人ホームリリー園

(住 所) 檜葉町大字井出字上ノ原28

(連絡先) 0240-25-1777

(入居要件) 原則要介護3以上の方



(3) 緊急通報システム

- ・高齢者や持病のある方の不安を解消するためのシステムをご利用いただけます。(無料)
- ・非常時にボタンを押すと、警備員(緊急対応員)が駆けつけ、一次対応を行います。
- ・ご希望の方は住民福祉課にお問い合わせください。

〈住民福祉課 電話0240-23-6102〉



5. 災害からの復旧、道路整備状況

(1) 災害からの復旧状況（福島県事業）

① 海岸防潮堤復旧工事

・復旧前の防潮堤【標高6.2m】⇒新しい防潮堤【標高8.7m】

◇前原・山田浜・波倉海岸 → 平成30年3月完成

◇井出海岸 → 平成31年3月完成予定

② 河川堤防復旧工事

◇木戸川・山田川 → 平成30年3月完成

◇井出川 → 平成32年3月完成予定

③ 海岸防災林造成事業 → 平成32年3月完成予定

(2) 道路整備状況

① 常磐自動車道

- ・ならはパーキングエリアに連結する「ならはスマートIC」を整備しています。
- ・県道いわき浪江線とICを結ぶ町道「ならはスマートインター線」（大谷字堤下地内）と合わせ、**平成31年3月に供用開始予定**です。

・運用形態：24時間

・対象車種：ETC車載器を搭載した全車種

・利用形態：一旦停止、フルインター（上下線ともに入入り可）

② 県道

県道名		場所	完成時期
広野小高線	天神工区	山田浜字坂下～北田字上ノ原 (L=2.7km)	平成31年3月予定 (工事中)
	井出工区	北田字上ノ原～波倉字原 (L=3.0km)	平成32年3月予定 (工事中)
	波倉工区	波倉字原～波倉字細谷 (L=2.3km)	平成33年3月予定 (工事中)
小埜上郡山線		北田字下山根～井出字高橋	平成30年7月完成
木戸停車場線		山田岡字舁田～町東	平成31年9月予定 (工事中)
		山田岡字一升平～町東	平成32年3月予定
下川内竜田停車場線		井出字鹿島～八石	平成32年度予定 (調査設計中)

③町道

町道名	場所	完成時期
一升平・佐野線	山田岡字堂ノ下～坂下	平成30年6月完成
(新)館ノ沢橋	井出字館ノ沢地内	平成31年3月予定 (工事中)
中満・天神岬線	北田字上ノ原地内	平成31年1月予定 (工事中)

<復旧状況の写真>

・前原地区海岸 防潮堤



・山田浜地区海岸 防潮堤



・井出地区海岸 防潮堤



・木戸川 堤防



・県道広野小高線



・県道小埜上郡山線



6. 産業の再生

(1) 事業所の再開状況

	商工会加盟事業所 (H30.9.20現在)	事業再開	町内で再開
事業所数	252	207 (82.1%)	<u>137</u> (<u>54.3%</u>)

プレミアム付商品券の販売

- ・町内における商業需要を喚起し、地域経済を活性化するため、昨年度に引き続き「プレミアム付商品券」を販売し、12,000セットを完売しました。今年度は、町内の66店舗にご協力いただいています。
- ・利用期間は平成31年1月6日までですので、お早めにご利用ください。

(2) 事業再開の支援

- ・事業再開について、下記の補助金等の支援があります。詳しくは、新産業創造室へお問い合わせください。

① 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金

被災者の働く場を確保し、今後の自立・帰還を加速させるため、工場等の新增設を行う企業を支援し、雇用の創出及び産業集積を図ることを目的とする補助金。

- ・対象業種: 製造業、卸売・小売業、飲食・サービス業 など
- ・対象施設: 工場、物流施設、機械設備 など
- ・補助率: 中小企業は補助対象経費の2/3以内

② 福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金

事業者の帰還や事業・生業の再建等を支援するとともに、事業の再建を通じて働く場の創出や買い物をする場など、まち機能の早期回復を目的とした補助金。

- ・対象事業者: 被災12市町村で事業を行っていた中小事業者
- ・対象事業: 事業再開等のため施設・設備の整備・修繕、宿舍整備 など
- ・補助率: 補助対象経費の3/4以内

③ 福島復興再生特別措置法による課税の特例

- ・設備投資に係る特例: 特別償却又は税額控除
- ・事業税、固定資産税の課税免除5年間
- ・不動産取得税の課税免除

〈お問合せ先: 新産業創造室 電話0240-23-6105〉

(3) 働く場の確保

- ・町民の皆様の働く場の確保のため、企業の誘致及び雇用支援を進めています。檜葉町に進出済み・進出見込みの主な企業は下記のとおりです。

企業名	業種	所在地
アンフィニ株式会社	太陽光パネル製造業	檜葉北産業団地 (大字下繁岡)
株式会社エヌビーエス	ガラス加工業	
恵和興業株式会社	廃棄物処理、リサイクル業	檜葉南工業団地 (大字山田岡)
住鉱エナジーマテリアル株式会社	電気自動車電池材料製造業	
福島SiC応用技研株式会社	半導体応用製品製造業	
株式会社ベルテクノプラント工業	金属製品製造業	
株式会社三工精機製作所	自動車部品・付属品製造業	
矢野口自工株式会社	自動車部品・付属品製造業	
株式会社宏昇製作所	木製家具製造業	

(4) 木戸川の鮭漁の再開

- ・木戸川漁業協同組合では、平成27年度から鮭漁を再開しています。
- ・平成28年に鮭ふ化施設を復旧し、同年度から人工ふ化事業と、ふ化した稚魚の放流を実施しています。
- ・現在は自然遡上した鮭のみですが、今後、徐々に放流した鮭の遡上も見込まれ、年間約7万尾の捕獲数を誇っていた鮭漁の復活を目指しています。

【平成29年度実績】

捕獲数: 3, 414尾(自然遡上のみ)

稚魚放流: 135万尾



復旧した鮭ふ化施設



合わせ網漁の様子

7. 生涯学習環境・体育施設の整備

(1) 檜葉市民大学の開校

- ・町内の生涯学習環境の再生を目指し、「町民一人ひとりが先生になる」ことを基本姿勢として、「檜葉市民大学」を本年6月に開校しました。
- ・農業、スポーツ、書道、歴史、語学、合唱など、町民の皆様が自由に楽しく参加できる講座を開催しています。
- ・これから実施する公開講座もありますので、是非ご参加ください。

◆「ピアノ デュオ リサイタル」

・12月9日(日)13:30～15:00 コミュニティセンター大ホール

◆講演「井出上ノ原遺跡で出土した遺物について」

・12月16日(日)13:30～15:30 コミュニティセンター大会議室

(2) 檜葉まなび館

- ・平成28年7月より、生涯学習の拠点として、旧檜葉南小学校校舎内に地域文化交流拠点「檜葉まなび館」を開設しています。(年末年始を除く毎日9:00～17:00開館)
- ・現在、以下のサークルが活動を行っています。

・わらじ組 ・和布細工工房ほのぼの ・なにかし隊 ・藍染会 ・天神太鼓
・天神龍舞(よさこい) ・華鶴会(日本舞踊) ・老人クラブ連合会 ・婦人会 など

- ・また、檜葉まなび館には、檜葉町教育委員会のほか、檜葉町体育協会、ならはスポーツクラブ、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライト、NPO法人シェルパ(障がい児支援)が館内に事務所を設け活動中です。

(3) 屋内体育施設「ならはスカイアリーナ」の整備

- ・スポーツを通じて、仲間・家族・世代をつなぎ、「町民の健康と魅力ある暮らし」を支える、スポーツと文化の新交流拠点として、屋内体育施設を建設しております。
- ・平成31年4月オープン予定です。

◆施設概要

構造:鉄筋コンクリート造+鉄鋼造2階建
建築面積:4,899.79㎡
延床面積:6,581.73㎡

1階:アリーナ、プール、幼児用プール、
防災倉庫、事務室等

2階:ランニングコース、屋内遊具施設、
フィットネスジム、アリーナ観客席等



屋内体育施設完成イメージ

8. 新生Jヴィレッジ

- ▶ 日本サッカーの聖地であるJヴィレッジが、福島第一原発事故の対応拠点としての役割を終え、今年7月に再始動しました。再開後、数多くのサッカー合宿や試合、研修会などで利用されています。今後一層、利用者が増え、交流人口の拡大が期待されます。

平成30年7月・・・一部再開(天然芝ピッチ5面、人工芝ピッチ1面、センターハウス、フィットネスジム、雨天練習場、新宿泊棟、スタジアム)

平成30年8月・・・全天候型練習場がオープン

平成31年1月・・・Jヴィレッジ再開記念ハーフマラソン(1/26開催予定)

平成31年4月・・・全面再開予定(天然芝ピッチ1面、人工芝ピッチ1面)
新駅「Jヴィレッジ駅」開業予定

〈施設利用などのお問合せ先: Jヴィレッジ 電話0240-23-7311〉



Ⅲ お知らせ

1. 家庭ごみの回収について

▶ 平成31年度のごみカレンダーは、平成31年3月発行の「広報ならは」3月号に同封します。

(1)ごみの出し方

①ごみは6種類(燃えるゴミ、燃えないごみ、ビン類、カン類、プラスチック、ペットボトル)に分別し、指定袋に入れて、当日の朝8時30分までにごみステーションに出してください。

②古紙(古新聞、雑誌、段ボール)は、町公民館東側の車庫でも回収しています。
※種類ごとにひもで十字に結び出してください。
※回収場所は月～日曜日の9時～16時まで開放しています。

(2)粗大ごみについて

指定ごみ袋に入らない家具等の粗大ごみの出し方は次の2種類です。

①ご自身で南部衛生センターへ直接持ち込む方法

- ・搬入時間は原則平日の8時30分～11時30分、13時～16時15分です。
- ※持ち込み前に南部衛生センターに受付時間をご確認ください。

②南部衛生センターにご自宅への収集を依頼する方法

- ・南部衛生センターが指定日(月1回)にご自宅に回収に伺います。

〈お問合せ先:南部衛生センター 電話0240-25-4609〉

(3)テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコンについて

- ・家電リサイクル法により、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコンは回収ができません。
- ・製造メーカーなどにより回収業者が異なりますので、販売店やメーカーにお問い合わせください。

(4)ごみ袋の販売箇所

- ・ブイチェーン 檜葉店
- ・ファミリーマート 檜葉上 繁岡店
- ・セブン・イレブン 下小埜店
- ・浜屋金物店
- ・マルミ衣料品店
- ・しおかぜ荘
- ・ローソン 檜葉大谷店

東京2020「みんなのメダルプロジェクト」について

- ・檜葉町は、使用済みの小型家電の部品から、東京オリンピック・パラリンピックのメダルを作るプロジェクトに参加しています。
- ・使用済みの携帯電話・パソコンなどを、町役場本庁舎正面玄関に設置している回収箱で回収しておりますので、ご協力をお願いします。
 - ◆回収品目：携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、ゲーム機、DVDプレーヤー、カーナビなど
 - ◆回収期間：平成31年3月31日まで。
またはリサイクル材が集まり次第終了となります。

2. 課税について

(1) 住民税(町県民税)

- ・平成31年度：通常課税

(2) 軽自動車税

- ・平成31年度：通常課税

(3) 固定資産税

	土地・建物	償却資産
平成30年度	2分の1課税	通常課税
平成31年度	通常課税	

- ◆震災等の影響により解体した住宅の敷地は、「空き地」であっても、平成33年度分まで住宅用地の特例(※)を適用します。

※住宅用地の特例とは、固定資産税課税標準額を「200㎡までは6分の1」、「それを超える部分は3分の1」の額にするものです。

(4) 国民健康保険税

国の減免制度 継続の場合	・平成31年度 上位所得者(世帯の中で国民健康保険加入者の合計所得600万円以上)及び転入者等の方以外は全額減免
国の減免制度 終了の場合	・平成31年度から通常課税

- ◆国の減免措置の継続・終了は、平成31年2月頃に決定する予定です。

〈お問合せ先：税務課 電話0240-23-6101〉

3. 広報について

(1) タブレット

- ・多くの町民の皆さんに、町のホームページをはじめとするインターネットを通じた情報をタイムリーにお届けするため、タブレット端末の貸出しを行っています。端末は無料ですが、通信料は毎月定額をご負担いただきます。

◆利用料 1,946円/月 ◆データ使用量 2GB/月

- ・また、タブレットの使い方の講習会を毎月開催しています。

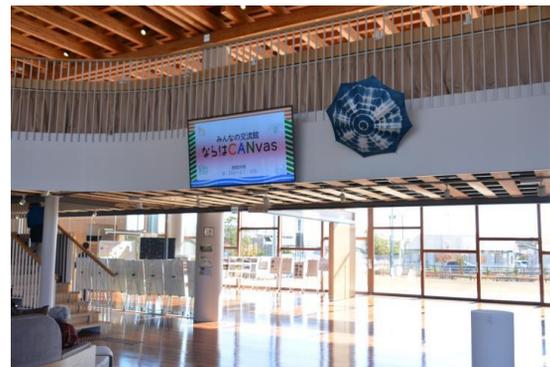
<12月> 檜葉会場(ならばCANvas) :12月13日(木)9:30~

いわき会場(第8仮設談話室):12月11日(火)10:00~

(2) ならばアプリ、ならば写真館

- ・タブレットやスマートフォンから、檜葉町の情報を入手しやすくする「ならばアプリ」をダウンロードしてお使いいただけます。

- ・ならばアプリでは、利用者が自由に投稿できる機能があり、その中の「ならば写真館」に投稿いただいた写真を、交流館と町役場のモニターで紹介しています。



交流館のモニターで投稿写真を紹介

(3) ならばフリーWi-Fi(ワイファイ)

- ・今年4月から、無料でインターネットに接続できる「ならばフリーWi-Fi」を、下記7施設でスタートしました。

(※災害時に避難所等で利用する施設として7施設にWi-Fiを整備しました。)

- ・ご利用方法は、政策広報室または各施設にお問い合わせください。

【対象施設】

- ・檜葉町役場
- ・檜葉町コミュニティセンター
- ・檜葉町保健福祉会館
- ・檜葉中学校体育館
- ・檜葉まなび館体育館
- ・あおぞらこども園
- ・檜葉町総合グラウンド



↑この表示がフリーWi-Fiの目印です。
施設の入口付近に掲示しています。

<お問合せ先:政策広報室 電話0240-23-6150>

4. あおぞらこども園入園募集について

- ◆平成31年度の入園申込受付を開始しています。対象は生後6か月から小学校就学前のお子さんです。
- ◆0歳から2歳児及び長時間保育を希望されるお子さんは、保護者の就労等の事情により、家庭での保育が困難である『保育の必要性』が認められた場合が対象になります。詳しくは、こども園へお問い合わせください。

(1) 申込期間

- ・10月1日から随時申し込みを受け付けております。

(2) 申請書の配置先と提出先

- ・申請書は、あおぞらこども園及び檜葉町役場住民福祉課窓口にあります。提出先はあおぞらこども園になります。

(3) 入園該当児

年齢	生年月日
0歳児	平成30年4月2日～平成30年10月1日
1歳児	平成29年4月2日～平成30年4月1日
2歳児	平成28年4月2日～平成29年4月1日
3歳児	平成27年4月2日～平成28年4月1日
4歳児	平成26年4月2日～平成27年4月1日
5歳児	平成25年4月2日～平成26年4月1日

(4) 広域入所

- ・檜葉に在住しており、仕事の都合等で町外の保育所等に通園を予定している方は、広域入所の手続きが必要になりますので、こども園までお知らせください。

〈お問合せ先:あおぞらこども園 電話0240-26-0808〉



■ お問い合わせ先

檜葉町役場 電話：0240-25-2111(代表)

(ダイヤルイン)

- | | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| ○ 総務課 | 0240-23-6100 | ○ 税務課 | 0240-23-6101 |
| ○ 住民福祉課 | 0240-23-6102 | ○ 復興推進課 | 0240-23-6103 |
| ○ 政策広報室 | 0240-23-6150 | ○ 産業振興課 | 0240-23-6104 |
| ○ 新産業創造室 | 0240-23-6105 | ○ 建設課 | 0240-23-6106 |
| ○ 暮らし安全対策課 | 0240-23-6109 | ○ 出納室 | 0240-23-6131 |
| ○ 議会事務局 | 0240-23-6132 | ○ 教育総務課 | 0240-23-6190 |
| ○ あおぞらこども園 | 0240-26-0808 | ○ 仮設住宅等対策室 | 0246-88-1234 |